国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和５年８月30日
東北地方整備局

９月１日に「総合防災訓練」を実施します

～大規模地震・津波に対する災害対応や関係機関との連携を強化～

東北地方整備局では、毎年防災週間（8 月 30 日～9 月 5 日）に防災訓練を実施しています。今年は 9 月 1 日（金）に宮城県沖を震源とする地震と津波の発生を想定し、災害対応訓練を実施します。

本訓練は、多様な情報通信機器を活用した被災情報の収集・伝達訓練に加え、防災業務の応援協定を締結している各種団体との連携を確認することにより、広域的な災害に対する対応能力の向上を図ることを目的としています。

1. 訓練日時
   令和５年９月１日（金）　9:40～14:00
2. 実施場所
   東北地方整備局　災害対策室（仙台合同庁舎 B 棟 12 階）
3. 訓練想定
   宮城県沖を震源とする地震が発生、宮城県内で震度 6 強（津波あり）
   そのほか東北地方で広く震度 6 弱を観測
4. 訓練のポイント
   ①関係する防災官庁（陸上自衛隊、海上保安庁、東北管区警察局、宮城県庁）との間で、迅速な情報共有のため、専用の通信網を通じた映像受配信の訓練を行う。（10:06 頃・11:41 頃）
   ②建設業や建設コンサルタント業関係の業界団体と締結している「防災業務の応援に係る協定」に基づき、連絡調整役（リエゾン）の受け入れ訓練を行う。（10:08 頃）
   ③災害現場からのスマートフォンによる簡易かつ迅速な映像配信、ＵＡＶによる俯瞰映像配信による情報収集に加え、令和 3 年度に導入した SUV 型の移動型衛星通信設備（Car-SAT）による、走行調査映像の中継を行う。（10:45 頃～11:00 頃）

※　当日の取材は、9時 00 分より入館可能です。事前申込みは不要ですが、合同庁舎１階で受付をお願いします。
※　当日は、9 時 20 分頃から 12 階大会議室（災害対策室隣）で概要説明を行います。
※　当日の気象条件等により、訓練を中止又は延期する場合は、東北地方整備局ホームページでお知らせします。
https://www.thr.mlit.go.jp/

＜発表記者会＞宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　防災室
宮城県仙台市青葉区本町３－３－１　仙台合同庁舎B棟　TEL:022－225－2171(代表)
防災室長　　十枝内　美範（としない　よしのり）（内線2151）

令和5年度　東北地方整備局　総合防災訓練　概略スケジュール
（取材用）

9:00　取材受付開始〔仙台合同庁舎B棟 1 階〕
9:20　概要・注意事項説明〔仙台合同庁舎B棟　12 階　大会議室〕
9:30　防災官庁・協定団体の連絡調整役入場
9:40　地震発生（訓練開始）

＜フェーズ1＞　地震発生後の初動訓練（発災直後～1時間経過まで）

9:40　災害対策本部設置（非常体制Ⅱ）
　　各職員執務室自席にてシェイクアウト訓練後、直ちに災害対策室へ参集
9:53　大津波警報発表
10:06　防災官庁へ映像情報共有の要請（以降、訓練中継続して受信）
10:15　第 1 回　東北地方整備局災害対策本部会議（整備局内の状況確認）
10:30　第 1 回　国土交通省特定災害対策本部会議（本省[模擬]との初期情報共有）

＜フェーズ2＞　津波警報解除後の情報収集訓練（発災から 3 時間後にスキップ）

10:40　津波警報解除（管理施設点検開始）
10:45　多彩な情報通信機器を使用した被災現場報告訓練
　　・スマホアプリによる映像伝送（塩釜港湾・空港整備事務所）
　　・ドローンによる映像伝送（北上川下流河川事務所）
　　・Car-SAT による映像伝送（仙台河川国道事務所）
11:00　第 2 回　東北地方整備局災害対策本部会議
11:20　災害対策支部とのTV会議
　　・北上川下流河川事務所（河川被災について）
　　・仙台河川国道事務所（道路被災について）
　　・塩釜港湾・空港整備事務所（港湾被災について）

11:45～　　ぶら下がり取材対応　※訓練進行状況で前後あり

＜フェーズ3＞　応急復旧等の対応訓練（発災から 12 時間後にスキップ）

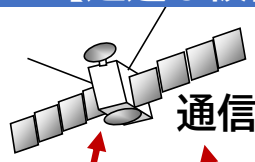
13:05　　第 3 回　東北地方整備局災害対策本部会議
13:20　　記者会見訓練（記者役は協定締結団体）
13:45　　講評
14:00　　訓練終了

※時程は 8 月 30 日時点の予定であり、当日変更の可能性があります。

令和5年度　東北地方整備局　総合防災訓練

【迅速な被害調査のための多彩な情報通信機器による訓練】

宮城県沖を震源とする地震により大規模に被災した想定で、迅速な被害調査のために多彩な情報通信機器を用いた調査映像伝達訓練を行います。



通信衛星

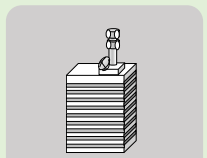
国土交通省本省

災害映像配信
（通信衛星）

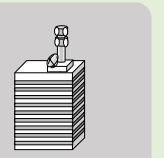
災害映像・
実況配信
（通信衛星）

災害映像配信
TV会議
（専用光ファイバ）

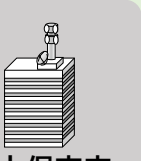
防災官庁との災害情報共有



東北管区警察局



陸上自衛隊

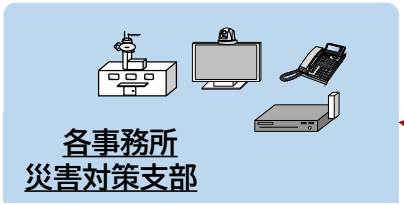


海上保安庁

災害映像配信
（専用光ファイバ）

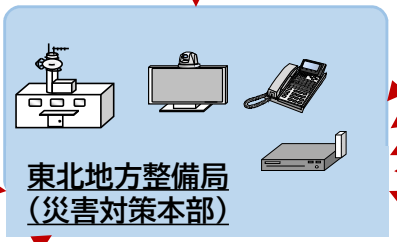
災害映像配信
（専用光ファイバ）

災害映像配信
（専用光ファイバ）



各事務所
災害対策支部

災害映像配信
（専用光ファイバ）



東北地方整備局
（災害対策本部）

自治体支援



宮城県庁

災害映像配信
（専用光ファイバ）

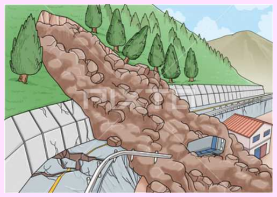
TV会議
（専用光ファイバ）

TV会議
（専用光ファイバ）

TV会議
（専用光ファイバ）

TV会議
（専用光ファイバ）

道路災害現場調査



道路災害現場



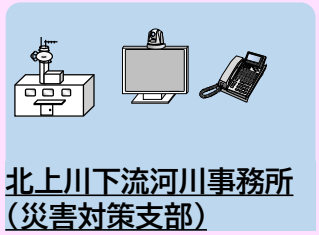
仙台河川国道事務所
（災害対策支部）



Car－SAT

河川災害現場調査





北上川下流河川事務所
（災害対策支部）



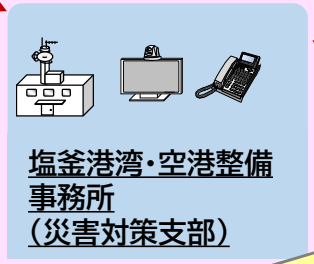
Ku-SAT



河川災害現場

UAV
＋
Ku-SAT

港湾災害現場調査



塩釜港湾・空港整備
事務所
（災害対策支部）



港湾災害現場



スマートフォン
（テレビ電話）

令和5年度　東北地方整備局　総合防災訓練

【東北地方整備局が保有する災害対策用機械（情報収集・情報伝送用）】



防災ヘリコプタ「みちのく」号と
ヘリコプタ搭載型衛星通信装置（ヘリサット）

・防災ヘリコプタ（みちのく号）に搭載したカメラで撮影した映像を通信衛星経由で伝送するシステムです。
・上空からの面的な調査映像を途切れること無く、安定的に対策本部などへ配信することができます。



移動型衛星通信設備
（Car-SAT）

・ＳＵＶに登載した全方位カメラで撮影した映像と現在地（ナビ画面）を、通信衛星経由で伝送するシステムです。
・災害現場を自走しながら撮影した線的な調査映像に、乗員による実況をのせて走行中でもリアルタイムで対策本部などへ配信することができます。



衛星通信車



Ku-SAT
（衛星小型画像転送装置）

・衛星通信車は、災害現場や被災自治体庁舎へ自走で駆けつけ、通信衛星を介して電話やメール等の通信手段を確保することができます。
・Ku-SATは、ライトバンでの運搬が可能な大きさで、災害現場等に定置することができ、カメラを接続して局地的な調査映像を伝送することができます。



災害対策室　大型表示システム（TV会議兼用）

・災害対応の司令塔となる災害対策室の壁一面に、災害現場の映像を始め各種防災情報、放送、TV会議映像などを複数同時に表示することができます。
・様々な情報が一目瞭然となるため、災害対応における迅速な判断や意思決定に寄与します。